

## 河合教頭先生 Q&amp;A

平成 25 年 4 月からボストン日本語学校に教頭先生として着任された河合智樹教頭先生からお話をうかがう機会がありました。

**Q. ボストンの印象は？**

ボストンはとてもきれいな場所ですね。自然がいっぱいで、なんてきれいな街なんだろうと思いました。横浜から来たのですが、横浜に比べると人が少ないので広々とした印象です。やっぱり仕事柄日本人コミュニティに多いのですが、温かい人が多いと思います。ボストンに住んでいる日本の方って、ものすごく声をかけてくださったり、心配してくださったり。日本ではあんまり知らない人に声かけないじゃないですか。だから、そこが違うな、と思いました。PTA総会で「是非話しかけてください」って言ったらどどんいんな人が声をかけてくれて、とってもありがたいです。

**Q. お生まれも横浜？**

父親の仕事の関係で川崎で生まれ、名古屋、大阪、静岡、長野…転々としていました。横浜は両親が家を買ったので高校 2 年生の時に戻ってきたのですが、地元はどこ？と言われてたら、横浜ですかね。長く横浜で教員していましたので。小学校が長かったのですが、途中中学校の方もやらせてもらいました。

**Q. お子さんは現地校にいったらしゃいますが、アメリカの教育の印象は？**

例えば算数などでは、答えに至るまでの道筋をすごく重視していると思います。プロセスを大事にしている。日本でも実は今そういう傾向にあり、昔は「こうやって解くのだよ」と教えるやり方でしたが今は問題ができて、それをみんなで「どういうふうに解いたらいいかな？」と考えさせて発表させる。できる子からはひとつのやり方だけではなく違う方法でも解けること説明させて、クラスみんなでどれが一番早く確実にできるかを考え「じゃあこのやり方でやりましょう」と。その真中の展開部分というのをアメリカはとても大事にしている、答えが合っている、間違っているというよりも展開部分にチャレンジしていれば「頑張ったね」と言われている気がします。

**Q. ボストン日本語学校は、週に一度の補習校で、家庭での宿題・勉強が大切ですが、子供たちの学習意志・モチベーションを上げるアドバイスなどありますか？**

「リズムを決めましょう」というのはよく言いますね。毎日この時間にこの内容をやろう、そして内容が終わったら他のことをやってもいいよ、というように。時間ではなく内容ができるかどうかというので勉強させると子どもたちは集中力が着きます。結局時間でやってしまうと、分からない子はずっと分からないままの時間でもったいないのです。内容でやると、分からないと終わらないので、分からないことは質問してもいいよ、と言ってあげます。

そして、学力を育てるのに一番いいのは聞かれた時に「操作させる」ことです。特に低学年は。数学などでもたとえば「コップに水が入っています」という問題があったら、実際にコップに水を入れて「半分になりました」とやってみるなど。それをやらせることにより記憶に残

る。それってすごく大事ですね。日本語学校は週一回の限られた時間ですのでこういったことは難しいのですが、お家でそういった操作をさせてあげるとよいかもかもしれませんね。なので、私もチョコレート並べて数的操作をやらせて出来たら食べてもよい、ということをやっています（笑）。

#### Q. 子供の頃、好きだったことなどは？

小学校の時から足が早かったのですよ。体育だけはずっと好きでしたね。

大阪の学校では毎朝学校に来たら校庭を走ろうという行事があったのです。それが大好きでそれだけは休みたくなって、熱があるのに朝の練習だけ出て練習終わって帰ったことがあります（笑）。あれは楽しかったですね。あとは国語もやっぱり好きでした。

#### Q. 国語の先生だったんですか？

小学校と中学校と高校の免許を持っているのですが、中学校は国語と体育です。そして高校は体育です。だから専門は体育ですね。

#### Q. 先生になろうと思ったきっかけは？

自分が小学生の時、学校が楽しかったのですよね。なので、この楽しいところに自分も入りたいなど、小学生の頃から思っていました。

#### Q. 先生になってなかったら何になってたと思いますか？

何になっていたのでしょうか？小学生からずっと先生になりたいと思っていましたからね。それ以外のチョイスは頭の中になかったかもしれません。心理カウンセラーかな？それも学校関係ですよ。（考える。）あ、ありました。先生か、オリンピックの選手になろうと思っていました！小学校の時ですね。種目は陸上の短距離です。小学校では徒競走とか陸上部では負けなしかったですよ。なので、これは勝てるな、と思っていました。でも中学の時に転校して、そして、転校先の学校には、なかったのですよ、陸上部が（笑）！でも大学では陸上部に入りました。そしてまた、これはいいかな、と思っていたのですよ。でも、日本の大学では体育の授業があるのですけれど、そこでスキーもやります。そして、滑っていたら後ろからバーンと突っ込まれて、実は今右足

の靭帯が切れているのです。またそこで更にオリンピックが遠のきました（笑）。縁がないのですよね。怪我がなかったら本当は日本語学校の運動会のリレーとかでももっと速く走れるのですけどね（笑）。

河合智樹教頭先生。B型牡牛座。教員歴22年目。

（聞き手：PTA執行部広報担当 藤原大湖）

## 自分たちの身を守るために

### PTA 副会長 コノリー朋子

保護者のみなさん、4月に発生したボストンマラソン爆破事件を憶えていますよね？犯人逮捕のために

Watertownと周りの町がロックダウンされたのが4月19日（金）、幸い犯人が逮捕されたため翌日の日本語学校は休校の必要がなくなり、4月20日（土）は通常通りの学校、そしてもとの予定通り「ロックダウン訓練」が実施されました。その時ほど「訓練」が「本番」に近いと感じたことはありません。参加された保護者の中にも似た想いの方が多かったのではないのでしょうか？

私たち日本語学校ではいくつかの安全対策が検討されており、中でも災害時に対する「避難訓練」と不審者侵入時に対する「ロックダウン訓練」は、学校での大きな行事となっています。私たちが自分たちの身を守るために何をすべきなのか、再度ここで確認させてください。

#### I.災害発生時

##### <園児・生徒>

授業中は学級担任の誘導のもと、休み時間は安全パトロールや図書委員など、その場の大人の誘導のもと、一番近い出口から西側駐車場（西側グラウンドの下）に避難する。

##### <保護者>

園児・生徒とは別に各自で西側グラウンド脇の道路、または大駐車場に避難する（自分の子供を勝手に連れて行くことは決してしない）。生徒の避難集合場所である西側駐車場が狭いため、保護者は違う場所に避難することで混雑や避難の遅延を避ける。その後の子供の引き渡しについては担任の指示に従う。

## II.不審者侵入時

〈園児・生徒〉 ロックダウンの通報が入ったら、学級担任が廊下やトイレに子供が残っていないかを確認し全員を教室に避難させる。担任は教室の鍵を締め、電気を消し、ドアの窓に目張りを貼る。教室のドアや窓から見えない場所に避難し、音を立てずにその後の指示を待つ。ロックダウン解除の連絡が入るまでそのままの状態待機する。

休み時間にロックダウンが発生した場合、一番近い教室や部屋に入り、とにかく静かに身を隠す。以下は避難場所の目安だが、臨機応変に動く必要あり。

- 1) 中庭にいた場合：1階カフェテリアに入る。
- 2) 廊下にいた場合：一番近くの部屋（教室、カフェテリア、図書館、トイレなど）に入る。
- 3) 外にいた場合：校舎から離れる（校舎には戻らない）。
- 4) 体育館にいた場合：体育館にそのまま待機する。

〈保護者〉 ロックダウンの対象箇所は「保護者控え室」と「図書館」。避難方法は基本的に生徒たちと同様で、ドアを閉め、電気を消し、ドアの窓に目張りを貼る。そして外から見えないところで音を立てずに避難し、ロックダウン解除の連絡があるまでそのまま待機する。

保護者控え室でロックダウンが行われる場合、原則的にはPTA執行部員が責任者として対応するが、会議などで執行部員が1人もいない場合も想定される。その際、各保護者に自主的に行動してもらうためにも以下のことに周知しておいていただきたい。

- 1) カフェテリア、レクチャールームのドアは中から閉めるだけで鍵がかかり、外からは開けられないようになること。
- 2) ドアの窓に貼るための目張りは執行部テーブルに常備していること（緑：異常なし、赤：けが人がいるなど、異常あり）。
- 3) 照明スイッチはカフェテリアは教室の後方、レクチャールームは教室の前方に設置していること。

日本語学校では、保護者のみなさんには原則として保護者控え室または図書館にいていただくことになっています。それ以外の場所にいる時にロックダウンが発生

した場合、上記を参考に、状況に応じてご自分の判断で臨機応変に対応してください。いざ、ことが起こったときにはぜひ教職員のみなさんと協力して、ご自身と子供たちの安全を守ってください。

## PTA 総会へのお誘い

PTA 会長 五味露敏

日増しに秋も深まり、紅葉の美しい季節となりました。ボストン日本語学校の保護者の皆様には、いつも暖かいご協力をいただき感謝申し上げます。これから子どもたちの安全環境と教育環境を更に充実させていくために、皆様からいろいろなお知恵とお力添えを頂きたく、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、下記の要領で2013年度（平成25年度）第2回PTA総会を開催いたします。各ご家庭から保護者1名の出席をお願い申し上げます。会議進行は日本語のみとなりますが、プレゼンテーションは日本語と英語で書かれますので、日本語が理解できない保護者の方もぜひご出席ください。

当日、都合が悪く出席できないご家庭は、オンラインから委任状の提出により議決権を行使できます。

<http://www.jlsboston.org/pta/kakushu-fomu/onlineforms>

注) 総会開催中は、茶話会や歓談など、進行の妨げになる様なことは慎んで下さい。

日時：

2013年10月19日（土曜日）

午前9時15分～10時15分

場所：

ボストン日本語学校（メドフォード高校）

2Fカフェテリア

議題：

学校長・運営委員長挨拶、PTA活動報告、PTA活動計画、その他

## 「代講教員」の募集について

ボストン日本語学校では、将来の担任候補の教員と併せて、代講のみの教員も募集しています。特に保護者の方で、過去に教員の経験や教育経験をおもちの方、またお子様が日本語学校へ登校した後、比較的自由な時間がある方、お子様の教育の中から自分でも教員をやってみたいと思われている方はいらっしゃいませんか？

教員免許は必要ありません。教育へのやる気と情熱のある方は是非、[job@jlsboston.org](mailto:job@jlsboston.org) (担当：教頭 河合) までお問い合わせください。

## 2学期のイベントの計画

### イベント企画委員長 三野洋美

10月5日には講師、樽井智子さん(医学博士)による「子宮頸がん予防ワクチンに関する正しい知識を身につける医療セミナー」にたくさんの方が参加して下さい、どうもありがとうございました。今学期は更に以下のイベントを企画しています。

- 11月16日 ソーラーパネルなど、家庭に設置できるエネルギーに関するセミナー 講師：高橋賢児さん(エナジーコンサルタント)
- 11月23日 子供と作れるクリスマスのクラフト教室

なお、イベント企画では、随時、委員を募集しています。時間の合うときだけの参加でも結構ですので、興味のあるかたは、[jls.eventkikaku@gmail.com](mailto:jls.eventkikaku@gmail.com) まで、メールでお問い合わせください。

## 新人執行部員挨拶・紹介

### 漢字検定 竹内朋子

今年度、漢字検定担当として執行部に入りました竹内と申します。ボストン日本語学校の子どもたちは、いつも元気いっぱいですが、また保護者の方もそれに負けず劣らずのパワーと情熱があるといつも感心しております。

私、実は、昨年の10月に日本からボストンに来たばかりなのです。私自身、ベテランボストニアンの方々に混じってやらせていただいていることが不思議でならないのですが、お陰様で皆様の温かいご支援のもとに親子とも楽しくボストン生活をスタートさせることができました。

私の夫は、帰国子女でありまして、中学1年から高校1年生までニューヨークで過ごし、同じく補習校にお世話になったそうです。そして、30年あまりたった今でも、その補習校の友人とは、年に数回も会って飲み明かすほどの交友が続いているのです。そのような一生の友を得ることができる場を与えて下さったことに大変感謝しています。わが子にとってもそのような出会いの場所になるに違いないであろうという思いで、微力ながらお役に立てればと思っております。どうぞよろしく願います。

## 文化祭のお知らせ

### 文化祭実行委員長 五十嵐敏子

恒例行事となりました秋の祭典、PTA主催文化祭が10月26日に開催されます。人気のスーパーボールすくいにメンコ、着付けや習字もあります。福笑いは、新しいキャラクターが登場します。そして、今年は、ケン玉コーナーも新設することになりました。ティーンズコーナーでは、お菓子が貰えるくじやゲーム、紙風船落とし、ビンおこし、などのお楽しみが盛り沢山です。沢山の生徒、児童の参加をお待ちしております。

(注意)文化祭は、PTAが本校生徒に日本文化体験の機会を与えるために行なっているイベントであり、保安

上の理由からも本校在籍家庭以外の参加はできません。何卒ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。昼食や飲み物の販売はございませんので、各自ご用意ください。

## ファーストエイド室より

ファーストエイド委員長 川崎祐美子

土曜日に『一週間会いたかったお友達に会える!』という気持ちで、休み時間に元気いっぱい遊んで怪我をしてしまうお子さん。日本語学校は、せつかくの土曜日なのに行かなければならなくて、気持ちが沈んで気分が優れなくなってしまうお子さん。様々な状態でファーストエイド室に来る子供が毎週たくさんいます。中には保護者に連絡をしなければならないケースもあります。そのような場合、クラス当番さんに保護者探しの仕事を手伝って頂いておりますが、朝子供を送り出す前に、ご自分が学校の間どこにいるのかという事を子供に教えて頂いていると、その仕事がスムーズになり、子供にも安心して待つようにと伝える事が出来ます。

これから寒くなり、風邪が流行り始めると生徒がたくさん来室する事が予想されます。現地校でも同じ事をなさっていると思いますが、前日に具合が悪かったお子さんや、朝に具合が悪そうなお子さんは、充分に様子を見て登校させるようにして下さい。よろしくお願い致します。

## 2013年度 後期カレンダー

### 10月 October

かなづき  
神無月

- 10月19日  
PTA総会・幼稚部秋祭り
- 10月26日  
第12回文化祭・  
ブックフェア・  
あゆみ配布

### 11月 November

しもつき  
霜月

- 11月2日  
授業参観・個別懇談
- 11月9日  
授業参観・個別懇談・  
漢字検定